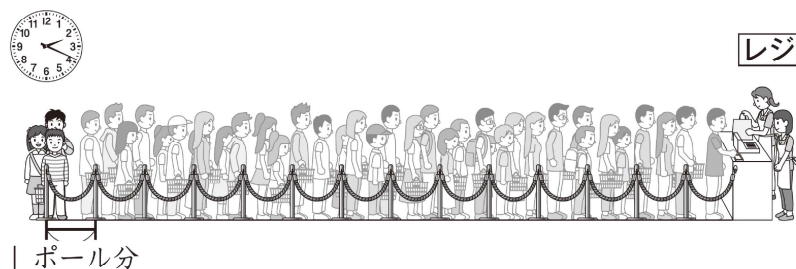


平成31年度 4 (3)

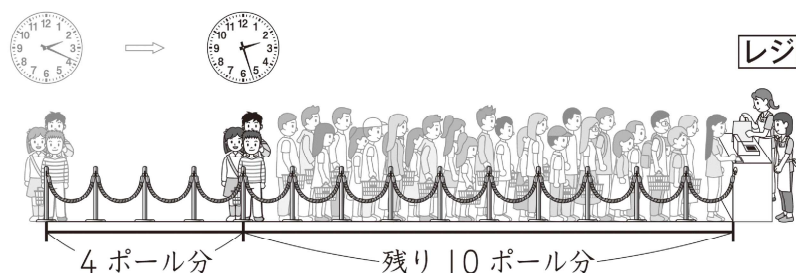
4 はるとさんたちは、遊園地に来ています。

(3) はるとさんたちは、限定商品を買いたいと思っています。次の予定があるので、午後3時までにはレジに着きたいと考えています。

列に並ぶと、レジまでは14ポール分ありました。ポールとポールの間の長さはどこも同じです。



はるとさんたちが並んでから、4ポール分進むのに8分かかり、残り10ポール分になりました。午後3までは、残り33分間です。そこで、33分間以内にレジに着くことができるかどうかを考えてみました。



はると

4 ポール分進むのに8分間かったことから、残り10ポール分も同じ進みぐあいで進むとして考えます。

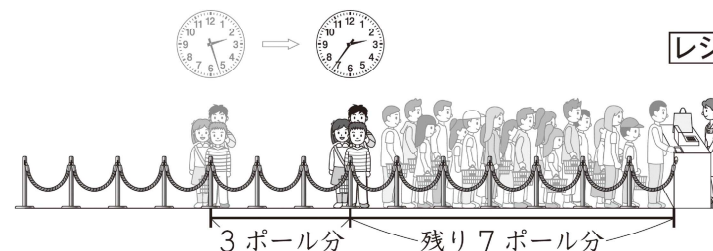
$8 \div 4 = 2$ で、1 ポール分には2分間かかります。

残り10ポール分なので、 $2 \times 10 = 20$ で、20分間かかります。

だから、33分間以内にレジに着くことができます。

ところが、レジにいる店員さんが減ってしまいました。それからは、3ポール分進むのに9分かかり、残り7ポール分になりました。午後3までは、残り24分間です。

そこで、はるとさんたちは、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを、もう一度考えてみました。



※ 問題は、次のページに続きます。



あかり

3 ポール分進むのに 9 分間かったことから、残り 7 ポール分
も同じ進みぐあいに進むとして考えます。

3 ポール分進むのに 9 分間かかる進みぐあいに進むとすると、残り
7 ポール分進むのにかかる時間は何分間ですか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、24 分間以内にレジに着くことができるかどうかを、下の
1 と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

1 着くことができる。

2 着くことができない。

解答らん

【求め方】

【答え】

分間

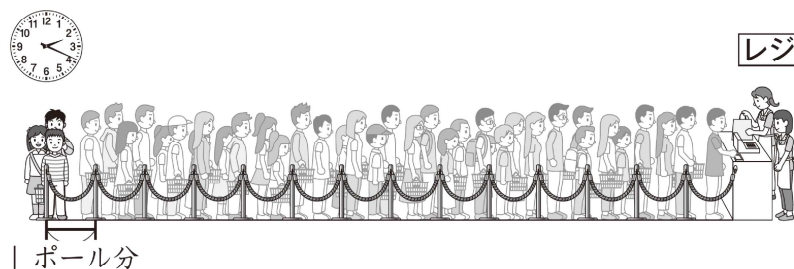
【番号】

平成31年度 **4** (3)

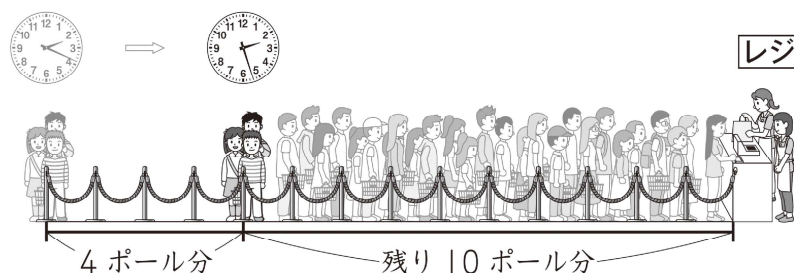
4 はるとさんたちは、遊園地に来ています。

(3) はるとさんたちは、限定商品を買いたいと思っています。次の予定があるので、午後3時までにはレジに着きたいと考えています。

列に並ぶと、レジまでは14ポール分ありました。ポールとポールの間の長さはどこも同じです。



はるとさんたちが並んでから、4ポール分進むのに8分間かかり、残り10ポール分になりました。午後3までは、残り33分間です。そこで、33分間以内にレジに着くことができるかどうかを考えてみました。



はると

4 ポール分進むのに8分間かったことから、残り10ポール分も同じ進みぐあいで進むとして考えます。

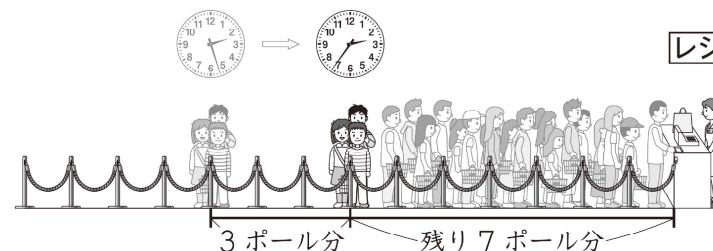
$8 \div 4 = 2$ で、1 ポール分には2分間かかります。

残り10ポール分なので、 $2 \times 10 = 20$ で、20分間かかります。

だから、33分間以内にレジに着くことができます。

ところが、レジにいる店員さんが減ってしまいました。それからは、3ポール分進むのに9分間かかり、残り7ポール分になりました。午後3までは、残り24分間です。

そこで、はるとさんたちは、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを、もう一度考えてみました。



※ 問題は、次のページに続きます。



3 ポール分進むのに 9 分間かかったことから、残り 7 ポール分も同じ進みぐあいに進むとして考えます。

3 ポール分進むのに 9 分間かかる進みぐあいに進むとすると、残り 7 ポール分進むのにかかる時間は何分間ですか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、24 分間以内にレジに着くことができるかどうかを、下の

1 と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

1 着くことができる。

2 着くことができない。

解答らん

【求め方】

(例)

$9 \div 3 = 3$ で、1 ポール分には 3 分間かかります。
残り 7 ポール分なので、 $3 \times 7 = 21$ で、21 分間かかります。

【答え】

21 分間

【番号】

1